



木にいっぱい触れたよ

2月9日(月)
たんぽぽ・ゆり・ひまわり組

今日は小松大谷高校インターハクトDC部の部員6名が、子どもたちと遊びながら木の魅力や森の役割について伝えてくれました。この部では5年前から県内外の子どもたちとの木育活動に取り組んでいるそうです。

森のはなし



「木が息をしているから人間も息ができるんだよ。」「森に木がたくさんあると動物たちも住んでいられるね。」

子どもたちには難しい話もありましたが、映像を見ながらよく聞いていました。伐採された木から作られるものを尋ねられると、身近なものを思い浮かべて答えていました。

におい比べ



ヒノキ、モミ、サクラ、マツ、スギ、ベイクサの木の表面を削ったカンナくずやチップなどのにおいを嗅いでみました。どの木のにおいなのかクイズもしました。



おちさ比べ



8種類の木材を触ってみました。つるつるしたもの、ざらついたもの、色に違いがあることも知りました。

どっちが重いかな？



よーし、釣るぞー！

防災の話



魚釣りとパズル

たんぽぽ組は、板に魚の色塗りをし、それを用いて魚釣りをしました。子どもたちの魚の板を裏返すとなんとパズルになっていました。みんなで考えて考えて…パズルが完成！！



ゆり組とひまわり組は、木のブロックを家に見立てて色を塗ったり絵を描いたりしました。出来上がった家を用意された紙の好きな場所に置いた後で、「川や山のそばに家を建てたら、大雨があった時に気を付けることは何？」との質問に一緒に考える時間をもちました。

